

出場チーム 合計5チーム

- ・4回生選抜チーム 1チーム
- ・3回生 予選会1位・2位の2チーム
- ・2回生 予選会1位・2位の2チーム

立論：各チーム9分以内 レジユメ A3 サイズ1枚 スライド10枚以内

作戦タイム：各立論終了後1分間

質疑：8分間

### 事例問題

X(自営業、45歳)は、自分の取引先であるA会社の倉庫には何も保管されていないことを知っていたにもかかわらず、日頃から弟のように自分を慕ってくるが、どこかその振る舞いに鬱陶しさを感じていたY(フリーター、28歳、高校時代サッカー部)の度胸を試して、ちょっといやがらせをしてやろうという気持ちで、何も知らないYに対して「夜中に、A会社の倉庫に入って、中を探して金目の物を盗み出してこい。うまくやったら本当の弟分にしてやるぞ」と唆した。YはXに言われたとおり、その日の深夜11時半ごろ、A社の倉庫の鍵を壊して侵入し、倉庫の中を探していたところ、たまたまこの日に限ってA社所有の絵画2点(それぞれ時価150万円相当)が倉庫の片隅に置かれていたのを発見し、これを持って帰ったらXを喜ばすことができると考えたYは、この絵画のうち1点を抱えて倉庫の外に出たところ、巡回中のA社の警備員V(62歳、元警察官、剣道5段)に発見されてしまった。Vが「泥棒だ!誰か来てくれ!」と大声で叫びながらYの身体を掴んできたので、Yは、このまま捕まっては大変だと思い、とっさにVの腹部を思いっきり蹴りあげた。ちょうどその時、Yの友人Z(コンピュータ関連会社勤務、28歳、空手3段)が残業からの帰宅途中に通りかかり、Yが「頼む!助けてくれ!」と叫んだので、Zは状況を察知し、Yが逃げるのを助けてやろうという気持ちで、腹部を押さえながらYを追いかけようとするVに対して、その腹部を3回にわたって強く蹴りあげる暴行を加えた。その間にYは絵画を抱えて逃走した。

その場に残ったZは、口から血を流して動かなくなっているVを見てびっくりし、「大変なことをしてしまった。」と思うに至り、すぐにケータイで救急車を呼んで自らも病院へ同行し、医師に対して「輸血でも何でも協力するから、この人を助けてほしい」と懇願したが、Vは内臓破裂が原因による出血性ショックで間もなく死亡してしまった。

なお、Yは盗み出した絵画をXのところに持参したが、Xからは「そんなことをやれと言った覚えはない。犯罪を犯す奴を弟分になんかできない。」と言われてしまった。

この事例におけるX、Y、Zの刑事責任を論じなさい(ただし、特別法違反については除くものとする)。